

## センコーGHD、連結子会社増で売上5000億円台

Edited By LogisticsToday On 2019/05/10

センコーグループホールディングスが10日発表した2019年3月期連結決算は、売上高を初めて5000億円台に乗せ、前期比7.6%の増収となった。営業利益は14.9%増の196億円、最終利益は22.9%増の116億円と増収増益となった。売上高営業利益率は3.7%(0.2ポイント上昇)。

■決算集計(見出し:年/決算期/四半期、[]):前年同期比、単位:百万円)	19/3/通 期	19/3/3Q 間	19/3/中 間	19/3/1Q 間
売上高	529,609 [7.6%]	400,565 [7.3%]	260,339 [7.4%]	129,365 [8.1%]
営業利益	196,311 [14.9%]	15,794 [18.3%]	9,108 [13.9%]	4,697 [22.6%]
最終利益	116,811 [22.9%]	9,552 [28.4%]	5,616 [29%]	2,919 [53.5%]
売上高営業利益率	3.7%	3.9%	3.5%	3.6%

料金改定効果のほか、18年3月期に子会社化した「安全輸送」、「オクムラ」の期間差影響、4月から「けいはんなヘルパーステーション」「ビーナス」「ブルーアースジャパン」などのライフサポート事業会社を、7月からMセンコーロジスティクスをそれぞれ連結化したことなどで、増収につなげた。これにより、外注費や燃料価格の上昇などのコストアップ分を吸収した。

今期は売上高5600億円(5.7%増)、営業利益209億円(6.5%増)、最終利益122億円(4.4%増)を見込む。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト: <http://www.logi-today.com>

URL to article: <http://www.logi-today.com/341855>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.